

明石工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	日本語（留学生科目）	
科目基礎情報							
科目番号		0066		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科		機械工学科		対象学年		3	
開設期		通年		週時間数		2	
教科書/教材		『日本語能力試験スーパー模試N1』監修：岡本能里子					
担当教員		金子 明美					
到達目標							
1. 授業および日常の様々な場面で日本語が理解できる。 2. 日本語を用いた表現ができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		授業および日常の様々な場面で日本語が正しく理解できる。		授業および日常の様々な場面で日本語が理解できる。		授業および日常の様々な場面で日本語が理解できない。	
評価項目2		日本語を用いた的確な表現ができる。		日本語を用いた表現ができる。		日本語を用いた表現ができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		日本語を正しく使う能力を向上させ、授業および日常の様々な場面で日本語が正しく理解でき、日本語を用いた表現ができるようにする。 漢字・語句・文法・長文読解・作文・聴解練習・朗読・スピーチ					
授業の進め方・方法		留学生を対象に、下記の授業内容に関する練習を含む講義を行う。					
注意点		・授業に集中する ・宿題を確実にする ・忘れ物をしない 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	自己紹介、アンケート、授業の進め方・受け方の説明		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		2週	平仮名、発音、漢字、語句、音読、聴解		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		3週	平仮名、発音、漢字、語句、音読、聴解		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		4週	平仮名、発音、漢字、語句、音読、聴解		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		5週	漢字、語句、音読、聴解		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		6週	漢字、語句、音読、聴解		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		7週	漢字、語句、音読、聴解		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		8週	漢字、語句、文法、音読、聴解		左記に関して日本語が正しく扱える。		
	2ndQ	9週	漢字、語句、文法、音読、聴解		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		10週	漢字、語句、文法、音読、聴解		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		11週	漢字、語句、文法、作文、音読、聴解		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		12週	漢字、語句、作文、音読、聴解		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		13週	漢字、語句、作文、音読、聴解		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		14週	前期テスト		左記に関して日本語を正しく用いて学習の成果が出せる。		
		15週	なし（前期14回、後期14回、全28回の授業です）				
		16週	なし（同上の理由による）				
後期	3rdQ	1週	漢字、語句、敬語、音読、長文読解、聴解		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		2週	漢字、語句、敬語、音読、長文読解、聴解		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		3週	漢字、語句、敬語、音読、長文読解、聴解		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		4週	漢字、語句、敬語、音読、長文読解、聴解		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		5週	漢字、語句、長文読解、聴解、プレゼンテーションの練習		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		6週	漢字、語句、長文読解、聴解、プレゼンテーションの練習		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		7週	漢字、語句、長文読解、聴解、プレゼンテーションの練習		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		8週	漢字、語句、長文読解、聴解、プレゼンテーションの練習		左記に関して日本語が正しく扱える。		
	4thQ	9週	漢字、語句、長文読解、聴解、ディスカッション		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		10週	漢字、語句、長文読解、聴解、ディスカッション		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		11週	漢字、語句、長文読解、聴解、ディスカッション		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		12週	漢字、語句、長文読解、聴解、作文		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		13週	漢字、語句、長文読解、聴解、作文		左記に関して日本語が正しく扱える。		
		14週	期末試験		左記に関して日本語を正しく用いて学習の成果が出せる。		
		15週	なし（前期14回、後期14回、全28回の授業です）				

		16週	なし（同上の理由による）			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	
評価割合						
		試験	課題・ノート整理・小テスト		合計	
総合評価割合		70	30		100	
基礎的能力		70	30		100	
専門的能力		0	0		0	
分野横断的能力		0	0		0	